

自閉症サイエンスカフェ

～論点のまとめ～

● 自閉症児とどう接すればよいか？

「自閉症の子どもを持たない親としては、どういふうに自閉症の子どもたちと接すればよいかというのが悩みどころ。」(保護者)

「例えば、自閉症の子が話しかけてきたときに、それに対して真剣に答えますよね。どこで切っていいのか。どこまで真剣に答えていいのか。」保護者

● 幼稚園／保育所から小学校への進学の問題

「幼稚園／保育所は家庭の延長っていう要素を強く持っていると思う。遊んでご飯食べて昼寝してみたいな場所ですよ。でも学校はやっぱり違いますよ。あれは教育労働みたいなのがあって、ルールがあって、言うこと聞いて、みんなと同じことやって、時間割決まっていますみたいなの。これは工場労働の準備でしょみたいなのがある。」(研究者)

● 学校から社会への参入とつまずき

「学校社会でうまくやっていく人間が一般社会でも同じようにうまくやっていくことができるか？」(小児科医)

● 自閉症児とつきあっていくことは負担か？

「自閉症の子どもを持つ親ならある程度そういう知識とか対応を知っているだろうけど、普通の子を持つ親に対して、そこまで自閉症の子との接し方を学んでくれるというのは難しい。」(保護者)

「自閉症の方々の努力も必要だけど、健常者側からの努力も必要になってくる。」(保護者)

● 自閉症児との「共生のあり方」とは

「自閉症の子どもとか、自閉症の親御さんだから、こうしなくてはいけないっていうのは、自閉症だからっていうのが頭にあってつきあうのではなくて、その子がどういう特徴を持っていて、何が得意で何が苦手なのかっていうのを見ようという視点が必要。」保護者

「小さいときから一緒に育っていくと、周りの子らがそういう子らとつきあう術を身につけていく。一緒に育てば共生につながるっていうのも、その子が変わるんじゃなくて周りの方が変わる。」(元園長／研究者)

● 「共生」か「適応」か？あるいは「棲み分け」か？

「親の立場からすると、どう適応するかという頭になる。僕の方が長生きできればいいが、そうはいかない。」(保護者)

「非常に長いスパンの問題。結局自分の子どもが社会に出るまでに社会が変わっているかといったらそんな簡単なもんじゃない。僕ら自身も自閉の子どもを社会に適応させる努力をしていかなきゃいけない。」(自閉症の子どもを持つ親)

「ルールがきちり確立してしまっている社会の中で、自閉傾向が強い人に社会のルールを全部守らせなければいけないか？それはどこまで可能か？」(小児科医)